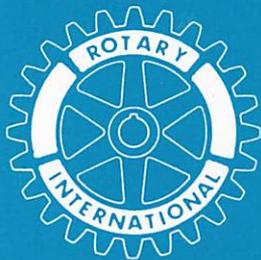


# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 名古屋東急ホテル  
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121  
 会長 池森 由幸  
 幹事 足立 一郎  
 広報・会報委員長 樫尾 富二

No. 14

### こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

### Reach Within to Embrace Humanity

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルシー

#### 今日の例会

第1382回 平成23年10月18日(火)  
 卓話“ロータリーの職業奉仕について”  
 地区職業奉仕委員会副委員長 村井總一郎君

#### 先週の例会

第1381回 平成23年10月11日(火) 晴  
 講演“日本語の今と未来”  
 東海テレビ放送アナウンサー 高井 一様

#### ◆奉仕の理想

#### ◆四つのテスト

#### ◆ビジター紹介

1名

#### ◆ゲスト紹介

東海テレビ放送アナウンサー 高井 一様  
 池森君ゲスト 斉藤拓実様

#### ◆出席報告

会員 42 (36)名 出席 24名  
 出席率 66.67%  
 前々回 9/27 (修正出席率) 88.57%

#### 足立幹事報告

1) 米山奨学金の寄付申し込み、11月8日秋季家族会の参加申し込みがまだの方は今週中に事務局までお知らせください。

#### 池森会長挨拶

今日は、東海テレビアナウンサーの高井一様による「日本語の今と未来」と題する講演を予定しています。とても楽しみにしていますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、名古屋千種ロータリークラブでも公式ホームページの更新を頻繁に行っていますが、それに関してTwitterやFacebookにも目を通して、ロータリー情報を調べています。それで驚いた事があるのですが、多分、私と同世代と思われる方が、「出張で東京駅ナウ」「スマホをゲットでハッピー、ラブリー」なんて記載をしているのを見るに付け、この方々と面と向かって話す時には、このような話し方はされないであろうに、人の顔が見えないバーチャルな世界では平気でこのような話し方？、書き方？でしょうか・・・をされるのが何より不思議に感じているこの頃でした。

議に感じているこの頃でした。

今日のお話でも、このような日本語の変化についての話題がお聞き出来ると思いますので、楽しみにしています。どうぞ、宜しくお願いいたします。

来週の例会ですが、私どもの専門分野の学会が名古屋の白鳥ホールで開催されます。当初は、お昼に抜け出して例会に参加するつもりでしたが、火曜日のお昼の海外から参加された先生方との昼食会に出る事になりましたので、大変ご迷惑をおかけしますが、来週は吉田副会長にお願いいたします。よろしくお願い申し上げます。

#### ◆講演 “日本語の今と未来”

東海テレビ放送アナウンサー 高井 一様  
 (紹介 樫尾君)



よく日本語が乱れているといわれるが、言葉の誤用や、変な流行語は時間と共に消滅するか定着するかの結末をむかえる。しかし、私がアナウンサーの仕事を通じて感じるのは50年・100年後の日本語はどうなるのか……という危機感。そこで、日本語の特徴を確認しながら、未来の日本語の姿を考えてみたい。

第一は「母音の言語」ということ。

nagoyaとローマ字で書くのとわかるように、一音は「子音+母音」で構成される(母音単独と撥音=ん、を除く)。英語ではChristmasのように語頭で子音が連続したり、語末に子音がくることがあるが、日本語ではそういう現象は絶対に起こらない。つまり母音べったりの言語なのである。

第二の特徴は「高低表現言語」ということ。

単語のアクセントが高低で、強弱アクセントの英語とは異なる。アクセントの使い分けで「箸を持って、端を渡って、橋を渡る」と同音の「ハシ」の意味を表現できたりもする。

また、文頭から文末に向かって、階段を降りるように音程が下がっていくのも特徴。

第三の特徴は「テニヲハで組み立てる」ということ。

日本語は意味を持つ独立した言葉を「テニヲハ」を表とす接続する「辞」でつないでいく。

「私は彼女を愛している」が「彼女を愛している、私は。」と語順が変わっても同じ意味を語れる。

しかし、「私に彼女を愛している」のようにテニヲハが破綻してしまうと意味をなさなくなる。「テニヲハ」つまり単語と単語の接続さえ間違わなければ、日本語の文章として成立する。

次に、今日本語に起きている問題点を指摘しておきたい。

最近、若者の会話速度が速くなってきて、何を言っているのか聞き取れないことがある。

それは、一音の「子音：母音」の母音の比率が低下してきたから。本来「0.2：0.8」くらいはあるべき母音が「0.2：0.4」程度になっている。声帯の振動を伴う母音が減ってしまえば聞き取りにくくなるのも当然。これは「息を十分使わない省エネ話法」ともいえる。

また、カレン・パンツのように、平らなアクセントでいうようになってきた。これも省エネ現象のひとつ。この平板アクセントは増殖の一途をたどっている。

そしてカタカナ語の氾濫。外来語を使うほうが高尚でカッコいいと思うのか、日本語で言えばよいことまで、カタカナ語で語っている。お互いにわかったような気分で、意味が曖昧なまま会話していると、真の意味疎通とはならないばかりか、誤解・混乱を招く恐れもある。また、外国人には通じない和製英語や「リモコン」「ゼネコン」のような略語も多用している。

しかも外来語は毎年500語の勢いで増えているという。完全に輸入超過だが、テニヲハでカタカナ単語をつなげば文章になってしまうのが日本語。今後、ますます会話のカタカナ語含有率は高くなっていくだろう。

早口と省エネ話法による母音の脱落・アクセントの平板化に加え、カタカナ語の含有率上昇は日本語にどんな変化をもたらすのか。はたして、50年後・100年後の日本語はどんな姿になるのやら……

## ニコボックス

池森 由幸 研修医の斉藤拓実先生をお連れしました 宜しく申し上げます

樫尾 富二 本日の卓話を東海テレビアナウンサーの高井様にお願ひしました よろしくお願ひ致します

川端 圭 今年は半年で南フランスの表彰旅行を確定する事が出来ました 神様 お客様 皆様に感謝します

小山 雅弘 ホームクラブご無沙汰しました

足立 一郎 萩原喜代子 林 正路

堀江 宏輝 伊藤 健文 小林 明

小林 英毅 松居 敬二 西川 豊長

大谷 恩 尾関 武弘 佐久間良治

鈴木 理之 鈴木 聖三 竹内 克豊

竹内 眞三 和田 正敏 吉田 節美

吉田 玄

高井様 お話楽しみにしています！

合計 48,001円

## ロータリーの友10月号より



「ロータリー」ならびに「ロータリーの友」について感じたこと、建設的な意見、疑問・質問、問題提起など。また、本欄に掲載の意見・質問に対する、回答・意見など。800字以内。

## 使命感

出雲中央 朝山 裕

パナソニック創業者である故・松下幸之助氏がかつて、さる誌上で、自分が損得勘定だけで会社の経営に当たっていたならば、今日のような世界的な企業に成長することはなかった。

成長できたのは、自分が産業人として使命を持ち、従業員もまたこれに共鳴してくれたからである、と述べられ、「使命感の有無が会社の未来を決定付ける鍵となった」と語っておられました。

松下氏にとっての「使命感」とは、貧乏を克服し社会を富ましめることにありました。貧富の格差はなくすることはできなくても、貧乏であるがゆえに許容せざるを得ない労苦から人々を救いたい、というものでした。松下氏は自己の使命感を奉じ、生産に次ぐ生産で物の値段を下げ、誰もが文明の利器が手に入るよう力を尽くされました。その成果は多方面に及び、特に家庭内の重労働から解放された女性たちは、社会進出を果たすことが可能になったわけです。

これら全ての出発点となったのは、彼の貧しい生い立ちから来る「貧乏とは幸いもんや」という心、想いです。このように物事の始まりは、常に心にあります。松下氏の心が結実したのがパナソニックであり、ポール・ハリス氏の心が結実したのがロータリーであります。まことに心こそ、全てのものの創造主と考えられます。

ですから、私たちロータリアンは、自分がロータリーに在籍していることの意義や「四つのテスト」の意味するところについて、常日頃から自分自身に問い続けてほしいと思います。

松下氏の場合と同様に使命感を自覚すれば、必然的に周りの世界が変化してきます。一人のロータリアンの「目覚め」は、多くのロータリアンの「目覚め」につながり、大きなうねりとなって、この世界を変えていく力になり得るからです。カルヤン・パネルジー国際ロータリー会長がおっしゃる「変化」とは、こういった意味であらうと考えました。

(第二六九〇地区 島根県 小児科医)